

死没者調書

本籍地	
現住所	
所属部隊	第二十一特別根據地隊附
入團月日	昭和十八年六月
等級	水兵長
内記	昭和十八年六月
外記	昭和十八年六月
勤務	勤務
死没月日	昭和二十一年七月一日
死没原因	左胸部被彈、左側肺露出、顔面挫創

庶務

655
23
4
21

昭和七年一月一日午前十時頃
 昭和三十七年七月一日午前十時頃
 昭和三十七年七月一日午前十時頃

死者の遺り金知しをぬすから申告致しをす

昭和三十七年一月二十五日

申告者 入籍番号 [redacted] 等級 甲 許氏名 [redacted]

死者の遺り金知しをぬすから申告致しをす

昭和三十七年一月二十五日

昭和三十七年一月二十五日

昭和三十七年

一 本願者は死者の身上所有一切を処理すも必要ありしに慎重に且つ詳細不記入して下す

○ 他人から南口へ承知した事柄其の地味をいふことより自然に承知す
 ○ 皆未だ録目には記入して下す

昭和三十七年

死亡確認書

死者高尾海兵衛 大樹山隊遺隊者 今隊功三教班

一死無陽所 大樹山隊遺隊者

一漏名 恣性了り

一死三期日 昭和三十年七月二日午後十二時四十分

一火葬場所 宝山大火葬場 七月三日

一義儀場所 高尾海兵衛 七月十日

一遺骨埋場所 同所 西本願寺

千葉

死者調書

本籍地	居住所	所属部隊	入團年月日	等級	内地赴任年月日	外地赴任年月日	病名又は受傷年月日	病名又は受傷年月日	死亡年月日
		二等特報隊		水長	兵隊	18.9.末	18.9.末	18.9.末	18.9.末
					横須賀止信伯				
					兵隊				
					水兵				

20.7.2 以上の船行場附近に被害あり、連中、被害は船中爆死

京 縣

184-11

状
 七
 月
 念
 九
 即
 九
 死
 之
 所
 所
 マ
 ニ
 此
 所
 行
 為
 附
 記
 死
 之
 所
 所
 マ
 ニ
 此
 所
 行
 為
 附
 記
 死
 之
 所
 所
 マ
 ニ
 此
 所
 行
 為
 附
 記

右の通り承知し、三月三日申合せし可。

昭和二十五年 三月 二日

申合せの者

文籍番号	本籍地	現住所	所属部隊
等級	工等兵曹	氏名	ニ下持

備考

一本舞書は死没者の身上関係一切を処理するものなるあり
 実書は且詳細に記入して下さい
 二他人の事聞いて承知した事項は其の首末尾の餘白に
 記入して下さい

①終戦直後(21.8.25日)現地に於ける合同葬には
 ②遺骨遺骨は名古屋上陸地に焼く下と思ふ(21.6.9名古屋上陸)

死者調書

本籍地

現住所

葬部隊

國軍自日

官字及上系

内丸港灣出港

武地當着

概要

發病(受傷)年月日

病名(傷病)年月日

發病(受傷)年月日

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

昭和十一年四月一日

科

氏名

[Redacted]

籍

[Redacted]

甲十二馬一...
 乙三二...
 丙...
 丁...

...

...

右申告文 2017-23

昭和 22 年 6 月 15 日

申告者

本籍地

現住所

所属部隊

氏名

佐々木

官等級

本籍地

住居

氏名

備考

李

雷朝宗

一 吳鎮守府在籍、特務士官准士官下士官及兵付記載又

二 初級隊人勿論他府縣出身者付付多記記載又

三 知得多少範圍、於此出来得し限り詳細に記載又

四 他人身聞り承知し先事須し各管支欄に相手方を記載又

終

昭和二十二年九月十七日

先至隊地を復命局より部長殿
戦後志士に宛てての件
御承知の旨の件は此の通りです

社後者調査書

佐賀

米籍地	右	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
現住地	右	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
行商部隊	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
入園月日	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
年	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
内地港務出張所	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
外地出張所	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
勤務ノ機要	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
登着月日	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
病名又は産傷部位	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです
備考	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです	昭和二十二年九月十七日	先至隊地を復命局より部長殿 戦後志士に宛てての件 御承知の旨の件は此の通りです

續後の中

昭和五年 月 日

昭和五年七月二十日 東京府 府内

昭和五年七月二十日 東京府 府内

在りて承知し、九月十七日

昭和五年 九月十七日

入籍番号

東京府

東京府 府内

住所

現住所

住所部派

第六十三番 東京府

昭和五年七月二十日 東京府 府内

一 本調査は、既婚者の自らの関係一切を處理するものであるから、

二 他人からの関心は、知るべき事項とすべし、

三 他人からの関心は、知るべき事項とすべし、

其の旨を先余白に記入し、

昭和五年七月二十日 東京府 府内

昭和五年七月二十日 東京府 府内

殿

元禄 1704

役所	職名	年	日	役	補	給	給
		元禄	八月十五	役			
		昭和	九月五日	役			
		昭和	九月六日	役			
		昭和	十月三日	役			

此後常調書

處理 用

97 85

0309

紀七年八月
 昭和二十三年十月十五日午前
 三十分

死出跡の状況
 平熱
 八日
 三日
 七日

夜の通り承知
 甲各致

昭和二十一年一月十五日

甲	入籍番号	昭和二十一年一月十五日	昭和二十一年一月十五日
乙	住所	昭和二十一年一月十五日	昭和二十一年一月十五日
丙	職業	昭和二十一年一月十五日	昭和二十一年一月十五日
丁	備考	昭和二十一年一月十五日	昭和二十一年一月十五日

備考

一 本調査は死後者の身上関係一切を處理するにあり
 二 且つ詳細に記入し
 三 他人から贈りたる承知したる事項
 四 其の旨を記入し

昭和二十一年一月十五日
 6704

95-10

乙

現況不明者究明調査書

(調査期日 7月2日) (調査場所 京都 一世)

添 三 六 二 號	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏名
	60頁	五一警	一	南	[Redacted]
舞 鶴 地 方 復 員 殘 務 處 理 部	出身府縣	所管復員局方面			
	京 都	二・横・吳・佐・(函)			
申 告 者	申 事 項				
	次々、古守島片岡港に御用船を借りて出航 [Redacted] け博愛丸に乗船せる最期も万く警務、亦及救助 せりも [Redacted] けすてに見當らす船に運命を共にせりか 如し				
調 査 官	家 族	住 所	職 柄	氏 名	
	復員者	住 所	部隊等級	氏 名	
※ 申 明 日	世 話 課	復員者申告 確実と認め居り差支へなく思ふ			
	所 在 人				

1. 本調査書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し(鉛筆書にて可) 舞鶴人に送付する
3. 乙號……舞鶴人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 向 世話課へ一通(復員局經由) } 送付する
4. 家欄は舞鶴人で記入する

146-10

38588

本籍地	現住所	所屬部隊	入國年月	官等	内地滞留出現年月日	取地出現年月日	血商	發病(受傷)年月日	病名(受傷部位)	備考(遺言)
		第千二特別根據地	昭和十七年五月一日	海軍二等兵	昭和十九年三月一日	昭和十九年四月十三日	250			昭和十九年八月八日 野村春之助

取及看簡

死亡年月日

昭和三年八月

死亡場所 不明

右申付ス

昭和二年八月十二日

現住所

所屬部隊

氏名

備考

第...部隊

官等級

海軍一等兵

入籍番號

備考

一本調書ハ部隊長又ハ職務取扱者等其地方復員局人等部長宛通報スベキ

責任者ニ於テ知得シラス 願ムルモノニ付記載ス

二吳鎮在給ノ特務士官准士官、下士官兵ニ付記載ス

三同縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

四知得シアル範圍ニ於テ出來得ル限リ詳細ニ記載ス

五他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各該管機ニ相手方ヲ記載ス

送付先

吳地方復員局 兵部部 郵政省法 (号) 下山路

吳地方復員局 兵部部 郵政省法

光復赤調書

本籍地	[Redacted]
現居所	[Redacted]
所屬部隊	二十三師
官階	少校
姓名	[Redacted]
服役	[Redacted]
天覆善	[Redacted]
勤勞	極早
死因	戰死 (詳中)
戰時死	民國二十一年五月七日
臨終	二十一年五月七日
本籍地	[Redacted]
現居所	[Redacted]
所屬部隊	二十三師
姓名	[Redacted]
服役	[Redacted]
天覆善	[Redacted]

一、本國軍人... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 吳市某地方職員及人事部長 宛

[Handwritten signature]

北 夏 青 衛 書

本籍地 [redacted] 201
 現在所 [redacted]
 所屬部隊 七聯連隊
 軍階 [redacted]
 姓名 [redacted]
 籍貫 [redacted]
 現任職務 [redacted]
 勤務概要 [redacted]
 重要事項 [redacted]
 戰時狀況 [redacted]
 其他事項 [redacted]
 昭和七年七月廿日

本籍地 [redacted]
 現在所 [redacted]
 所屬部隊 七聯連隊
 軍階 [redacted]
 姓名 [redacted]
 籍貫 [redacted]

一、本籍地 [redacted]
 二、現任職務 [redacted]
 三、重要事項 [redacted]
 四、戰時狀況 [redacted]
 五、其他事項 [redacted]
 吳市吳地有權員司人事部長 宛

2160

八才二十三

死後者調書

本籍地	[REDACTED]
現住所	[REDACTED]
所屬部隊	戸四三 隊 上
入隊年月	昭和七年六月一日 夜種現 役 兵種砲術員
官等及び 天曹長	氏名 [REDACTED] 天曹長 入籍番號 [REDACTED]
戦地到着年月日	昭和九年七月十四日 分ハオニ隊下 漢方隊 [REDACTED] 香初ハ先任下士トシテ 漢方トテクミシタチオオタク分川 七ノ年渡洋地ニ於テ戦場ニ從 事ス
勤務概況	[REDACTED]
[REDACTED]	昭和二十一年七月十日頃
[REDACTED]	コラヒクノ事順次

此等台等場所 四十年八月廿五日...

告示

知事 一年二月日

水原地

現住所

所屬町

氏名

于四五...

官等級

海軍軍兵曹

籍名

備考

一、本調書の記載に於て...

二、通報の責任有於...

三、異領在籍の特務官...

四、同府縣人の勿論...

五、知得の範囲に於て...

六、他人の聞知を承知...

戦死番号 4213



押後中ノ島
五ノ長の名を不明に載し誤記の事悔甚しき事

此島は中々忠生名不明に標榜し用ひ誤記の事報告申上り

中々多標とはニニ九海防燈台同分隊一諸君を乗せ共に足元の交り

を弱したる仲よしの戦友に似た 本燈台昭和二十一年二月進水

中々多標とは五度ノ海戦に出動本燈台は朝鮮錫海港を基地とし

昭和二十一年五月於中道 沖縄方面の作戦に当りて奮闘した

昭和二十一年五月十一日附とあり青森大隈に基地を以てし

オホツラ海方面の作戦に多くをなせ七月上旬の海防島方面作戦に

出動七月十五日函館沖に海中敵艦を撃破二隻及び三十九の軽攻撃

艦を撃つた當時自らは重傷をして上甲板勤務の時刻午後五時三十分

戦死 當時中々多標は艦首一番砲台に記おくしき事

戦死中々多標は戦死を命じられた事今も標台人の血自らの血

とあつた事明しき事記した

鹿兒島縣

戦死

古時發射始め指揮官の号令は最後の鼓聲が決行され
 見敵は殺の精神にあり發射に終りなく車輪を以て爆音と
 共に數百本の火の柱が一瞬夫を焦らしました見事敵船は
 巨艦二つに別れて山崩れ沈み敵艦の船末層を確認
 宿望今までの日光が加やく辛若く強者達の胸中一胡上に
 書く事はお尋ねせ

古時四十分頃現念をいして我艦は島の爆音を三發を受け
 大平洋の深層へと消へられた自分ら我が魂に帰れた時は海の中
 五ヶ所のあつらひをうました見よと賊中おせなく果敢なく決意なく
 全く自己と云ふ觀念を捨つたすう大層と祖国に全身全霊を
 捧げ盡し若くは二十餘歳にして雄と護國の花と散りた戦友が
 幾十人と遠くへ居るの生きたるのほふが者と記おくしませ
 古時海遠の早の若たへ右へと遠くへ行くのひし
 現在生かぬ者も承知の如く三人外は戦死したものと確認

當時の公使福の治めは見えへりた

自らは暎目して太平海の花の如く散りし早著き愛國戦友

但又父母福に抱育時何れか説か申し福も申座りし見

當時恩やと南無ととして娘身う世のたもつると思見へる

祖國に再建文化國より建設の音と喜びりて行揚

此世報に接せしるや父母福と始めあし一旅の申す中深く

申事し申さしと和事今家には居るまうかういふも申下さい

昭和二十二年二月二十五日

福

昭和三十二年十一月十一日 昭和三十二年十一月十一日 昭和三十二年十一月十一日 昭和三十二年十一月十一日 昭和三十二年十一月十一日

昭和三十二年十一月九日

氏名	所属部隊	現住所	本籍地	階級	入籍番號
	第七〇七八〇一			上等兵	
				歩兵	

備考

- (一) 本調査は部隊長又は班長が最もよく、呉地方隊員個人より調査の通知をなすと認めらるるものに付記載するものとする。
- (二) 呉地方隊員が持務を有し、准士官、下士官に付記載するものとする。
- (三) 同村出身人は勿論、他府縣出身者についても記載するものとする。
- (四) 知得し得る範囲に於て、出来得る限り詳細に記載するものとする。
- (五) 他人の住所を記載する場合は、その住所を記載するものとする。
- (六) 送付先

呉地方隊員局人事部長宛

128

52010

愛媛縣

八

本籍地	現任所	所屬部隊	入隊年月日	等級	內地渡海	外島渡海	勤務種別	病名	病名
[Redacted]	右令	羅津特別根據地隊青津取遣隊		上等機由丸	[Redacted]	[Redacted]	巷内掃蕩中機雷隊 三名行方不詳 隊上三名 [Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

死没者調書

熊本縣

心

戰死番号 4800

籍地	現住所	所屬部隊	入團年月日	年級	所在地	死後遺調書
斧籍地						
現住所						
所屬部隊		第三二號海台艦				
入團年月日			昭和十七年五月廿九日			
年級			海軍一等兵曹			
所在地						
死後遺調書						

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

病名又ハ受傷時

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

昭和二十一年七月十五日

此の... 倉石... 昭和二十二年一月十五日

昭和二十二年一月十五日 一九〇〇頃
昭和二十二年一月十五日 一九〇〇頃

昭和二十二年一月十五日 一九〇〇頃
昭和二十二年一月十五日 一九〇〇頃

中	入籍者	現住所	所属部隊
者	卒籍地		
の			
			第三二號海防艦

備考
 一 本籍書は現役者の身の上関係一切を把握するに必要あり
 二 且つ詳細調査を必要とする
 三 他人から聞き取れたる事柄は本籍簿に記入せず
 四 首末は録自に記入する

德

本籍地	現住所	所屬部隊	入團年月	等級	其他	勳勞概要	其他	其他	其他
[Redacted]	[Redacted]	羅津特別根據地隊掃海隊第一番隊北方丸	昭和十九年七月	一等水	昭和二十五年三月 昭和二十五年三月 昭和二十五年三月	掃海作業			

死没者調書

20844

昭和三十二年七月十五日 羅津特別根據地隊 戰死

昭和三十二年七月十五日 羅津港外掃海作業中
從事中一。二五頃觸雷沈没戰死 乘員
全員

中入籍番號 [redacted] 等級 水兵 [redacted]

現住地 [redacted] 同 右

所屬部隊 羅津特別根據地隊

右通り承認 [redacted] 申告 [redacted]
昭和三十二年十二月二日

現況不明者調書

軍人現況不明者調書

整理番號

内地出發年月日、場所、乘船名(又は航空機)等 告知が行なはれた 通知があつたか	本人からの最後の通信	差出日附 部隊符號 受領年月日 検閲者印	所 (詳令年月日) 籍	等級	氏名	生年月日	入籍番號
			沖根司 (0.三.五)	上等曹	氏名 [Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

家族の承知してゐる情況

其 な者 死 年月日 場所 戦死	同部隊名	其の時本人の状況	何處で何時に たつたか	本人とは 何處で何時に たつたか	同右現住所	情報提供者	提供年月日	歸還者からの情報
							昭和二十二年七月二十日	昭和二十二年七月二十日

昭和二十二年七月十七日
隊内にて自決したる内、予等隊員
及び三名及び自決したる戦死

84

21

佐 人 資 料 處 位	世 話 課 (科) 資 料 及 所 見	其 他 究 明 上 參 考 と な る べ き 事 項	家 族 渡 受 領 の 情 況 及 取 扱 経 理 部	昭 和 二 十 一 年 八 月 一 日 又 は 其 の 後 に 未 復 員 届 を 出 した か 出 し て な け れ ば そ の 理 由	(一) 歸 還 者 か ら 何 が 通 知 が あ つ た か (二) 其 の 他 の と こ ろ か ら 何 が 通 知 が あ つ た か (右 通 知 した 人 の 住 所 氏 名)
22 7 17 神 報	22 26 此 後 常 湖 寺 に 送 れ ら れ た と す 。				
息 消 の 人 本 の 後 の					
	本 人 の 消 息 を よ く 知 つ て ゐ る と 思 は れ る 者 の 住 所 氏 名 其 の 他 究 明 上 參 考 と な る べ き 事 項	ば ら な 等 の 推 定	作 職 員 隊 所 收 容 場 月 日 收 容 年	ば ら な 等 の 推 定	行 逃 不 明 者 の 生 死 事 故 年 月 日
					及 子 の 事 に 関 し て の 事 項

戦死確認資料

一 申告者 二 警曹

海軍少備兵長

一 戦死者 二 本籍地

一 戦死年月日 昭和二十年十月十八日一〇〇〇〇頃

一 戦死場所 「ガルネオ」 「マリツクメベン」 (スモイノ、コロイリン)

一 所属部隊 東邦航空隊 「マリツクメベン」 派遣隊

一 遺骨処理状況 「コロイリン」にて埋葬す

戦死當時の状況

昭和二十年十月十八日一〇〇〇頃 「マリツクメベン」 「スモイノ」
「コロイリン」地区に居住民の民衆が於て指揮官より「ムラカン」に戦
闘激突中敵「グラマン」機が機銃掃射を受け、機長は胸部
及左大腿部貫通機銃創に因り即死す
死体は「コロイリン」にて埋葬せり

(終)

現認証明書

第三共栄丸機関員心得

一、死亡確認年月日 昭和二十年七月二十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 夕イ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和二十年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和二十年三月三十日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸機長員

一、死七確認年月日 昭和三十年七月二十日〇五時三十分

一、死七確認場所 支那海 タイ湾口

一、死七確認状況

本船昭和三十年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中魚雷攻撃ヲ受ケ大爆令発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月五日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸 換貞員

一、死亡確認年月日 昭和三十年七月三十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 タイ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三十年七月三十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ多ク大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月二十日

第三共栄丸 船長

要

現認証明書

第三共栄丸 副船长

一、死亡確認年月日 昭和二十一年七月二十日〇五時三十分

二、死亡確認場所 友那海 夕イ瑪口

一、死亡確認状況

本船昭和二十一年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃を受け多々大爆発船体破後ト共ニ戦死セリ事ヲ認ス
右現認ス

昭和二十一年三月二十日

第三共栄丸 船长

現認証明書

第三共栄丸 操機 午

一、死七確認年月日 昭和三十年七月三十日五分三十分

六、死七確認場所 支那海 タイ湾口

一、死七確認状況

本船昭和三十年七月三十日五分三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ
受テ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月二十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸 操縦長

一、死亡確認年月日 昭和二十一年七月二十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 タイ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和二十一年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ
受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス

右現認ス

昭和二十一年三月二十日

第三共栄丸 船長

現認證明書

第三共栄丸 一等機関士

一、死亡確認年月日 昭和三十一年七月二十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海、タイマロウ

一、死亡確認状況

本船昭和三十一年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ受テ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セラルヲ確認ス
右現認ス

昭和三十一年三月二十日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸機長

一、死亡確認年月日 昭和三十年七月三十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海タイ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三十年七月三十日〇五時三十分前記場所航行中、
雷撃ヲ受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月二十日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸甲板員心得

一、死七確認年月日 昭和三十年七月二十日〇五時三十分

一、死七確認場所 支那海 夕イ湾口

一、死七確認状況

本船昭和三十年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中魚雷攻撃ヲ受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月二十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸甲板員心得

一、死亡確認年月日 昭和三十年七月二十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海夕イ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三十年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中魚雷攻撃を受け大爆発船体沈没し共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三十年三月三十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸甲板員

一 死亡確認年月日

昭和二十一年七月二十日の五時三十分

一 死亡確認場所

支那海 夕イ湾口

一 死亡確認状況

本船昭和二十一年七月二十日の五時三十分前記場所航行中

魚雷攻撃を受け大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ

確認ス

右現認ス

昭和二十一年三月三十日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸 操舵手

一、死七確認年月日 昭和二十年七月二十日五時三十分

一、死七確認場所 支那海 タイ湾口

一、死七確認状況

本船昭和二十年七月二十日の五時三十分前記場所航行中魚雷攻撃ヲ受ケ火爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和二十年三月三十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸操舵手

一、死亡確認年月日 昭和二十七年七月二十日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 タイ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和二十七年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ受ケ大爆発 船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和二十七年三月二十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸 甲板長

一、死七確認年月日 昭和二十一年七月二十日〇五時三十分

二、死七確認場所 支那海夕イ湾口

一、死七確認状況

本船昭和二十一年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス

右現認ス

昭和二十一年三月三十一日

第三共栄丸

船長

現認証眼書

第三共栄丸 二等航海士

一、死亡確認年月日 昭和三十年七月五日 〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 夕イ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三十年七月五日 〇五時三十分前 記場所航行中 魚雷攻撃ヲ
受テ 大爆発 船体沈没ト 共ニ 戦死セル事ヲ 確認ス
右現認ス

昭和三十年三月三十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄花校周員心得

一、死七確認年月日 昭和二十年七月三日〇五時三十分

一、死七確認場所 支那海 タイ湾口

一、死七確認状況

本船昭和二十年七月三日〇五時三十分前記場所航行中突雷攻撃ヲ受テ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和二十年三月三十日

第三共栄花 船長

現認証明書

第三共栄丸 機関員心得

一、死亡確認年月日 昭和二十一年七月三日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海多イ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和二十一年七月三日〇五時三十分前記場所航行中魚大雷被撃中ラ多ク大爆発致シ船体沈没ト共ニ戦死セラル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和二十一年三月三十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸 司厨長

一、死亡確認年月日 昭和三年七月二十日五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 タイ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三年七月二十日五時三十分前記場所航行中奥雷攻撃ヲ受ケ大爆発船体沈没ト共ニ戦死セル事ヲ確認ス

右現認ス

昭和三年三月三十一日

第三共栄丸 船長

現認証明書

第三共栄丸調理心得

一、死亡確認年月日 昭和三年七月三日〇五時三十分

一、死亡確認場所 支那海 夕イ湾口

一、死亡確認状況

本船昭和三年七月三日〇五時三十分前記場所航行中突如雷が撃ち下り
多々大爆発の体現致し共ニ戦死セル事ヲ確認ス
右現認ス

昭和三年三月三十一日

第三共栄丸 船長

押入

現認証明書

第三共栄丸 司厨員

一 死亡確認年月日

昭和二十一年七月二十日〇五時三十分

一 死亡確認場所

支那海 多イ瑪口

一 死亡確認伏理

本船昭和二十一年七月二十日〇五時三十分前記場所航行中奥留攻戦ヲ

受テ大爆命死船傍沈没者ニ戦死セラル事ヲ確認ス

右現認ス

昭和二十一年三月三十一日

第三共栄丸 船長

5783

香川縣

昭和三十八年六月十日
昭和三十八年七月十日

昭和三十八年六月十日
昭和三十八年七月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和三十八年六月十日

昭和七年七月二十日

本ルを才也無死

(下記記入)

居出

平二軍士自命
伏経事受領

なし

情報提供者の言に依れば、七月二十日、切込隊と、
其の後の連絡なく隊を解散し、不明者として取扱たが、
自己の責任感、
世に誤解調査員と面談の際の言、

6576
昭和七年七月二十日

古入連科

戰死確証書

海軍一等整備兵曹

一、戰死、場所

台灣新竹海軍航空隊

二、戰死、日時

昭和二十年七月二十二日午前十時頃

三、戰死時、状況

陣地構築中、空襲、遭爆死

右、如夕戰死、確証書

台灣新竹海軍航空隊海軍二等整備兵曹

100-10

戦死記録資料

海軍航空隊員

大塚 健一

一 姓 名

一 現 住 所

一 職 務

一 出 発 地

一 遺 体 有 無

一 死 亡 日 時 刻

一 病 名

一 死 亡 場 所

一 所 属 部 隊

一 戦 死 時 刻 の 概 況

妻

昭和三十年七月八日(時刻不詳)

ボルネオ島バリッククババン

東印海軍航空隊バリッククババン基地救遺隊

戦死時々の状況

昭和三十年七月五日バリッククババン沖に敵機動部隊現れ上空

七時度し、敵烈志を鑑射撃を敢行し、未だ一と以て、東野軍はハナ
リク旅達隊全員のオオテニ特別根據隊を陸隊と共に陣取リ
一角に集リテ、應戦を準備せしむ。斯くして七月一日遂に東洲
共上陸す。我々の部隊は機銃を以て敵に對峙し、以ては彼我銃斗
を開始す。トモナリ

為時ハナリク其以に於けり、我々の連中は打ちよく敵の爆撃はナ
ク潰滅し、早急は一戦りや、僅かに砲撃門と機銃のナリ
別是糧食完全の敵軍に有り、為めにバヤク、ヨリサマシク
に通ず。バヤアンタル道終に殆ど、我々の陣地少き我々の軍は
ガヤンタルヨリ出沒し、手榴弾、口車、刀等、以て、果敢に斬
込、我々の陣地に出、血を強要せしむ。漸次後退し、途に
ナリ

若くは六、隊、小隊に敵屬す、小隊、奇襲、七、敵軍、を、交、か

我が部隊の後退は有利とありしめつゝありしが、殊に極りたき敵
陣に當り遂に最後を遂げりしに、一命一筋争ふ
當時の死斗は遺品すら運ぶこと能はず、涙をのりて後退の止む
なきに至りしあり。

當時の部隊指揮官は海軍大尉 [REDACTED] (名船郡) ありし。

戦死者名録は並に下に附随せし一切の手續の処理責任者

は不詳なり。

106-11

45009

死没者調書

本籍地
現住地
本籍地

所属部隊
神奈川縣第二相模野海軍航空隊

入團年月
昭和十九年九月二十五日
役種
會志願

官等級
整長
氏名

生年月日

内地港灣出陣年月日
戰地到着年月日

勤務概要

昭和十九年九月二十五日入團後換養飛行
隊に轉し勤務中爆死
19-11-25
換養飛行

發病(受傷)年月日

右(受傷部位)

發病(受傷)原因

換養飛行場に勤務中空爆に併り戦死

戰没時状況

死没時刻及場所
昭和十九年七月五日
換養飛行場

右申告文

昭和二十一年十一月十三日

申告者	本籍地	現任所	本籍地	官等級	職長
氏名		神奈川知事			

備考

- (一) 本調査部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報ニ非ズシテ認ルモノニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍者持務官官准並長下出官兵ニ付記載ス
- (三) 同封縣人ニ勿論他封縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 吳封縣ニシテ範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 送付先

吳市

吳地方復員局人事部長宛

68925

人 A 三三

昭和三年十一月三十日

申告者

現住所

元等級上落

現況不明者
姓名本人

所請之
一〇〇一五

特設車高塔

入園

當部承
知事

事項
昭和三年七月廿五日

本發
昭和三年七月廿五日

戦死
昭和三年七月廿五日

人
戦死

戦死

回

北
戦死

三重縣上野市
（元二三空伊原所承運依）

北
戦死

戦死

右
戦死

戦死

合
戦死

戦死

谷

標

人

<p>本表は軍事部下の所屬を地方課員職務変遷部、海員業務課 履歴先 必ず追送し、 大知得事項は推定し、 玉浦道は確認し、 大知得事項は推定し、 細大を詳し、 大知得事項は推定し、 細大を詳し、 大知得事項は推定し、 細大を詳し、</p>	<p>下記に在籍する軍人 軍属死没者又は 最終の消息を尚存 しない者 及び 昭和印し、 昭和印し、 昭和印し、 昭和印し、</p>	<p>日海軍省 日海軍省 日海軍省 日海軍省</p>	<p>有 有 有 有</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>
	<p>復員取扱御宅</p>	<p>復員時留職(郵送)</p>	<p>内地陸地方 年月日</p>	<p>氏名</p>

明

兵種番號 八八

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(詳令年月日) 二二特報 (第八〇〇番)	留守増常者	職稱	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地
	父	氏名	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地
既知事項	一、佐世保人事業修練資料 二、世語(科)資料 三、家族(身寄)承知事項	一、()遺骨有無() 二、()遺留品有無() 三、()遺品() 四、()遺品() 五、()遺品() 六、()遺品() 七、()遺品() 八、()遺品() 九、()遺品() 十、()遺品() 十一、()遺品() 十二、()遺品() 十三、()遺品() 十四、()遺品() 十五、()遺品() 十六、()遺品() 十七、()遺品() 十八、()遺品() 十九、()遺品() 二十、()遺品()	現住	現住	現住	現住
情提供 昭和 年月日	内地歸還年月日	布	等	氏名	入籍番號	現住
報告 昭和 年月日	内地歸還年月日	布	等	氏名	入籍番號	現住

愛媛縣

編成の時期及び場所(昭和 年 月 日於 佐世保)

二、内地出隊の時期及び場所(昭和 年 月 日於 佐世保)

三、進出要領

一、本人とは何處に何時迄一緒にいたか

二、その時の本人の状況

自昭和 年 月 日

至昭和 年 月 日

終 勤 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	個 人 に 関 する 事 件		船 上 に 関 する 事 件		現 在 の 地 域 に 関 する 事 件		戦 争 時 の 状 況			
		乗 客	乗 員	乗 客	乗 員	乗 客	乗 員	乗 客	乗 員	乗 客	乗 員
(公)		佐世保人事業若輩にて判定		三、行動の概要 一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 四、出港地及び年月日 五、寄港地及び年月日 六、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数		四、現行地及び年月日 五、交戦(被害)の状況 六、終戦時の状況 七、終戦後の状況 八、歸還の状況		六、終戦時の状況 七、終戦後の状況 八、歸還の状況		四、現行地及び年月日 五、交戦(被害)の状況 六、終戦時の状況 七、終戦後の状況 八、歸還の状況	
(明)		三、間部隊名 四、承知事項を 家族に通知した 内容の有無		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名	
(不)		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名	
(生)		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名		本人の消息をよ く知つてゐる者 の住所氏名	

7026
28年9月1日

縣
市
町大字

昭和 年 月 日
昭
和
二
十
八
年
九
月
一
日

香川縣

作帳/68

軍人現況下明書調書

自深田製

所屬

等級氏

名

籍

本籍

本籍

籍

地

所

留學擔當者

交感

及知しつゝなる状況

歸還ハシテの状況

本人の最後の通信

在出日附

高尾山

受用者

情状提供者

同右親戚

本人の何處

下宿

内容

出出全三冊目

行先

同右

同右

同右

同右

石州知事
の
御
用
印
鑑

昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

家長及親類
の
御
用
印
鑑

昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

世話課(科)

資料及所見

犯人資料

處置

得達者
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

6606
28
5
7
日

本人の御用印鑑
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

本人の御用印鑑
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

本人の御用印鑑
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

本人の御用印鑑
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

本人の御用印鑑
昭和二十五年八月日
父不具名
後心出た
はたし
御用印鑑

本日不忠の坐多き故郷より、兩陣の接不懐念のより何共

申上りテヤリのふい感情の補ゆれましあ。

人等
頭山浮か表りおすゆの總て

悲念の心ひきかのみぞんて参りります。

其の後の私の生存其のりものも不思議の位の感事が致志

第一課
其の後の私の生存其のりものも不思議の位の感事が致志

乾敗戦日本の再建の産業生産復興の折角努力

致志の、居ります政何卒他事下らぬ安心下さへ、又

其の後於るべき志何れと手續き成す可き事からも

沖産番子すれば沖産通知下さへ、早速沖産返事致します。

さて 本日沖産會の海軍部長 [redacted] 氏様

解答

一、戦死年月日

昭和二十一年七月二十六日午前十時四十五分

場所 朝鮮黄海道海州州屋冲南方五哩地點

一乘組艇名 第十八回出丸

一職名 掌砲長 兼 航海士

一情況 昭初二十年七月二十六日午前十一時二十分

當艇當隊(早九掃)陸前丸と右記地真に

於て任務交代に依り申継實施中突如南方

水平線の彼方に黒點二個當艇見張員が

発見情況を通報し来たる當時 掌砲長

當艇將校として艦橋に勤務中其の報接する

や直ちに台戦準備の命令を發せ刻々黒點の

變化を見詰めつゝあり玉か約十分後の午前十

時三十分先記黒點は激發し其がうらみあり

此の變持ちの機關の運轉情況は全力運轉中

午前十時三十分、敵艦陸前丸は敵機の投下せる
最初の爆弾に命中す刻の間も直ぐ沈没せり
同時刻本号十八日の丸に射を敵機は盛んあり
爆撃機銃掃射を行へ来り至り幸に本
艦は爆弾は命中せざりしも至近弾の散りか
りし為め飛の動搖甚き且、其の為め奔雨機及
補助機は破損あり飛内は暗黒と化せりと
同時飛の運航は停止せり、本艦及其周辺一帯は
爆音・機銃音のサカサカの應響に最初は盛んあ
りしも次第に衰えて戦斗僅か十五分間程なり
もかであつたと思われる。

至近弾三発目位は私と
管上の精況並に運路を取りつ、ありしも四発目

18542

敵しを露見を喰ふに艦橋の大車を吹き船はされ多に
思われ幾等公衆警をて声上揚せられ返答亦く遠く彼
方ハ、ワメキ声の聞えるのを私は感せりと同時に本艇の
艦底に破孔を生じ其處より甚しき浸水が始まり出しか
本艇は其時より大さな傾斜を始め次第に沈没しつゝあり
を覚えり。

敵しを破銃掃射の為の遂に本蒸氣管及補助蒸氣
管ハ概銃弾敵多命中。彼方此方ハ蒸氣の噴き出し
く次第に艦閉室に居られあり萬止むを得ず兵隊を
逃れさせ最後ハ私ハ概閉室を退けり。

上甲板に上り出せ見ると概銃員及砲員の總てが
死に居るを認めたり。敵機尚上空に在りて攻撃手を
續行中あり。

第○日ノ爆風を受け多時本艇乗組中ノ

(司令)及

船長共ニ戦死し

上甲板の彼方此方ニ

幸々

同日午後ノ時ノカ

を退去す時

總員退去後約

受せり

本艇沈没

當地に

脱去せり

敵艦沈没後約

一時間経過

し

後

1874

我舟海舟艦乗り一舟カ木片ヒすかゝ我艦生存者ヲ海
上ニ氷ガ浮クニ居ルカを救助スル也

然して生存者一同一先ニ海舟艦ニ収容スル應急ニ當處
置ヲ受ケ同日午後六時ノ今海洲港港ニ到着直ニ
トランクノ自働車ニ道立海洲病院ニ入院治療スル
受ケテ事トスル也

入院中艦長よりカ言葉ニ取れ候

■ 幸手艦長の當時の部下統御及指揮命令云々攻撃
精神の盛んであつた事は實に立派なものであつた。

■ 艦長長の戦死と此多のはあの如き目の爆撃が折々
落つた大の爆風を喰つたあの時であつたこと述べてらる。

■ 艦長任後日淺サルに實に氣の毒な事であつたこと
以後約一週間戦斗海面の死体捜査ニ努カセしり候

1875

其の他詳細は遺憾なく私に概聞料のありまじ多故状況
を反映させる事か出来ぬいのを残念と思つておます。
以上を以て私の報告を以て解答を以ておます。
私の **無常長** に対する印象を申上りければ
性格は至って真面目 氣力剛健 体力強健
又安直 胡も亦及面をり見出す事か出来まじ矣

昭和二十二年三月十六日

舞鶴地方復員局人事部
特准係

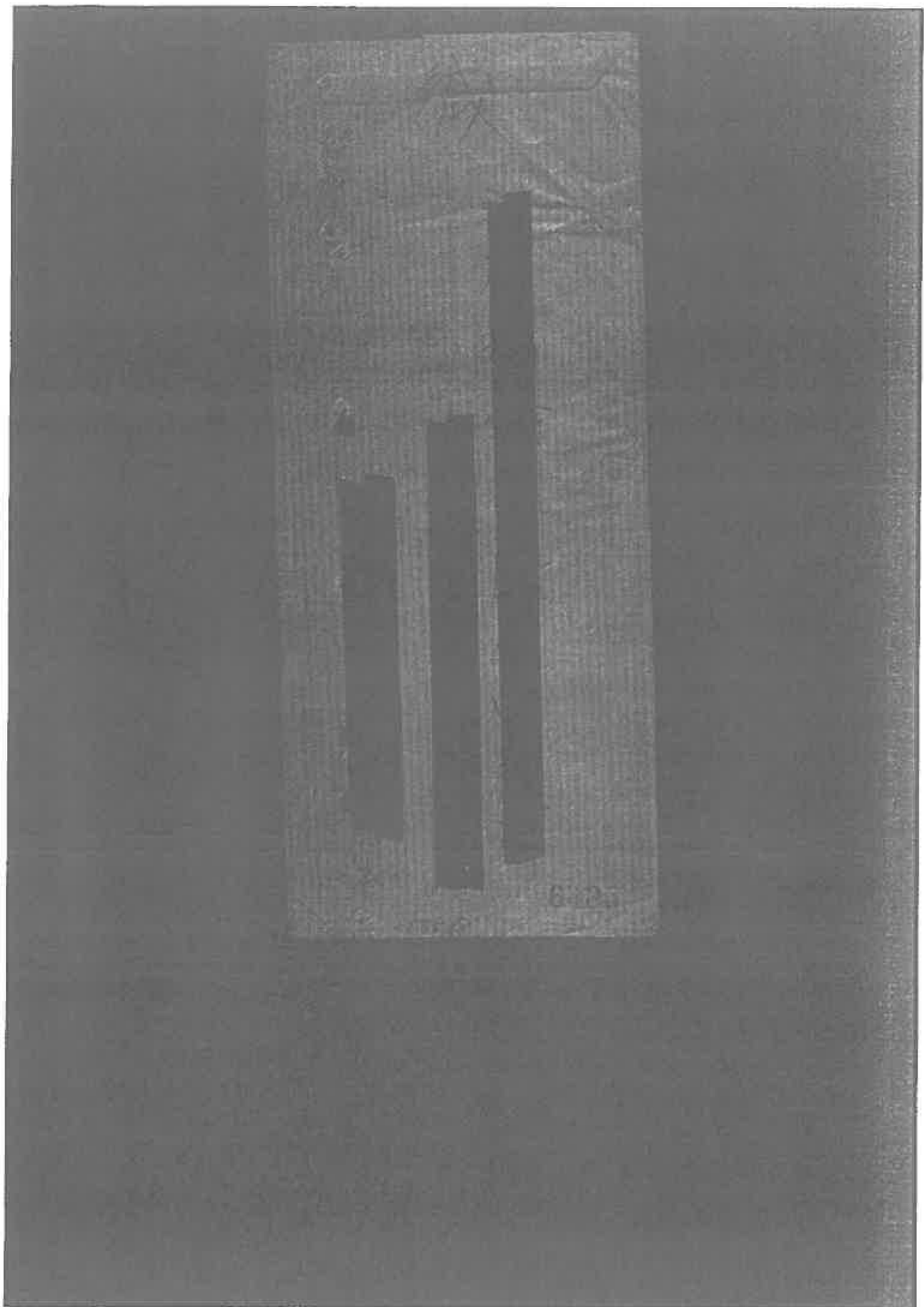
殿

12/16

Vertical text on the left side of the page, possibly a title or list of items, written in a traditional East Asian script.

Main body of vertical text in the center, consisting of several columns of characters, likely a list or a detailed record.

613



熊本集

本籍地	現住所	所屬部隊	入國年月日	等級	外到年月日	勤務概要	備考
		朝鮮咸北道洋洞洋方面特別根據地隊	昭和二十二年二月一日	海軍一等水兵	昭和二十年十月	樞密ノ御海軍ニ勤務中井人ト知リ合テモウカ ルヲ。事ト記憶ス	小形船ニ乗船中機務係員トシ勤務中 昭和二十二年十月一日
				現役			
				兵種			
				水兵			
				右世保軍港			
				鎮海入港 (馬津子洗車)			

死歿者調査書

6456

23/41

死亡年月日

昭和二十二年七月廿五日

死亡原因

選擇病

死亡場所

部死

身上不明

右の通承知としてあり市告致し

昭和二十二年十月二十一日

申入籍番号

[Redacted]

子 級 階 第 一 号 取 扱 氏 名

[Redacted]

告本籍地

[Redacted]

者現住所

[Redacted]

の所属部隊 朝鮮軍北滿洲軍 遼陽方面特別根據地隊 中隊長 王 經

備考

一本調査は無致あり身と関係一切を處理すまゝありかゝ慎重
 以其の筆調を記入して下さい

二他人の関して承知し其事項は其の旨末尾余白に記入して下さい

4669

死 後 者 調 査

本籍地	同 七
現住所	一 世 親 族 子 弟 二 務 整 凡
所屬部隊	一 役 種
入隊年月日	一 役 種
兵種	一 役 種
官 位 級 別	一 役 種
内地離隊出發年月日	昭和二十年七月二十日
内地離隊到着年月日	同 二十日
簡章の記載	
發病(死亡)年月日	昭和二十年七月二十日
病名(受診部位)	不明
發病(受診)又 は歿後時の状況	不明
死亡年月日時刻及場所	昭和二十年七月二十日 午後一時十五分

54

6438

126

右中告示

昭和十一年 五月 二十一日

中 告 卷			
氏 名	所 属 部 隊	現 住 所	本 籍 地
		同左	同左
	監視隊隊長		
	官 階 級		
	入 籍 番 號		
			水兵長

備 考

一 本則書は部隊長又は強固の強者等に於て吳地方務員局人事部長宛
通報に非ずと認むるものみに付記載す

二 吳員在籍の特務士官、准士官、下士官、兵に付記載す

三 同府縣人は勿論他府縣出身者に於ても記載す

四 同知得しある短編に於て出來得る限り詳細に記載す

五 他人より聞き承知したる事項は各當該欄に其旨を記載す
内送付先
吳地方務員局人事部長

吳人第百五號、三六、四二

一、新 二、

梅入沙島七頭五等

昭和二十二年六月廿九日

資料提供者

七輪送隊

本人の所轄は第三警備隊に属する

現況不明未詳送名附出願書

氏名	現任	現任所
現地七頭町の 所長		
第三特別根據地隊 第一警備隊隊長		

氏名	現任	現任所
電報名		
名又は入本		
現況又は内		
行方不明地		
年月日又は		
所		
又又は行方不明		
又は由及び		
状況		

昭和二十二年六月廿九日
第三警備隊隊長
梅入沙島七頭五等

63252

姓名
住所
備考
昭和18年
昭和19年
昭和20年
昭和21年
昭和22年

昭和18年	昭和19年	昭和20年	昭和21年	昭和22年

(註)

〔取次又は行方不明年月トムびその場所又は所在を調査し、或は調査しおられたい旨は告知でも相帳で知るかから務めて取次し、いたさない

〔消原を配してはゐないか個人から知れた事項までのついても必ず記載していただく

同この名称を収る以外でも此表に記載しおるべき事項の時は追記して下さい

18年

460-10

6441

B. 711.
 2066 遺骨 石室 上陸地 塔場
 死者 調書

本籍地	現住所	所屬部隊	入国年月日	等級	役種	現後	無往來水岳
[Redacted]	[Redacted]	二十二特別根據地隊		水長	現後	[Redacted]	[Redacted]
外に到着年月日	内地臺灣赴任年月日	勲功	病名又は傷病	死後年月日	死場所	死因	備考
昭和七年七月五日		整備隊	マシヤ、アミールバセキ、御乳	昭和七年七月十八日	ハルノオホ	戦病死	



93-13

右の通り承知し、その旨を申し送りす

昭和二十三年一月十二日

申告者	
入籍番號	[Redacted]
本籍地	[Redacted]
現住所	合左
所属部隊	二十二特別機壕部隊 [Redacted]
再級兵曹長	代名 [Redacted]

備考

- 一 本調査書は死没者の身上関係一切を處理するものであるが、慎重に且詳細日記記入も下す
- 二 他人の関与承知した事項は其の旨末尾の餘白に記入も下す

昭和二十三年一月十二日



12-19

熊本縣

死後者調書

本籍地

現任所

所屬部隊

入隊年月日

等

内地渡り出隊

外理

勤務日数

発病又は負傷

熊本縣 在属部隊

[Redacted]

右の如し

高雄海兵団

二〇一五一一五

二 水

現役

兵種 兵科

[Redacted]

[Redacted]

甲下

理原實直 三 研究 空 富 山

昭和二十年七月二十日

三日熱 トラリヤ

入用以来强健ニシテ職務ニ勉勵致シテ病ニシテハ急ニ発熱 受新

高城海軍団大崗山派遣隊

昭和七年七月三日

死之時

石の通

昭七年七月三日

昭七年七月三日

申入籍者

志本籍地

者現住所

の所属部隊

高城海軍中尉

備考

一不調等... 昭和七年七月三日

6938 昭和七年八月廿六日

99-10

死 歿 者 調 査

本籍地	現住所	所屬部隊	入團年月日	等 級	出陣年月日	外地到着年月日	勤務の概要	備考
[Redacted]	右 同	高雄海兵團	昭和十一年三月	海軍曹長	昭和十一年三月	入街	全名 [Redacted] 初年兵科強中 [Redacted] 特別勤務 [Redacted]	昭和十一年三月 [Redacted] 有下可 [Redacted]
				復 種	現			
				兵 種	水 兵			

備考
昭和十一年三月 [Redacted] 有下可 [Redacted]

死亡年月日 昭和二十三年四月十五日
死亡場所 高雄海兵衛隊第一分隊第一大隊
死亡原因 戦死
備考

右の通承知して為す事なり申告致しませう

昭和二十三年四月十五日

申入籍番号	受給者	等級	階級	氏名
若本籍地				
若理任所				
若所属部隊	高雄海兵衛隊第一分隊第一大隊			

備考

一、本調書は死没者ノ身ノ関係一切ニ處理すも其ノ為ニ慎重ト且、詳細ノ記入ト下ス

二、他人ノ關係ニ於テ承知ノ事項ハ其ノ會ニ未尾余自ノ記入ト下ス
全分隊ニテモ其ノ死没、隊務等モ、台南臨時司令部（第一分隊）
各分隊、七〇号等ノ關係、尚モ現地情報（新英全對）ニテモ、
昭和二十三年四月十五日、
君ハ台南

小笠原島、右ノイニ分隊、全分隊、山ノ下、隊、中隊、其ノ全、
制、
考、
此、
一、
二、

元海軍軍人現況不明者調書

整理番號 54 不

部隊 一、編成の時期及び場所(調 二、内地出撃の時期及び場所(調 三、進出要領	報告 昭和 年月日	内地歸還年月日	事項 一、佐世保人車 業務調費料 二、世帯課(科) 資料 三、家族(身寄) 承知事項	留守 担当者 父	所轄(詳令年月日) 羅特根 (昭和三十五年七月七日)	等 級 一水	氏 名 [Redacted]	生年月日 [Redacted]	入籍番號 [Redacted]	本 籍 地 村大字	現 住 所 村大字			
部隊に關するもの (これ以上に詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと)			一、()遺骨有無() ()遺留品有無() 昭和 24 年 4 月 1 日 発表			非是承知した事項 戦没(行方不明)の場所 昭和 24 年 4 月 1 日 発表 戦没(行方不明)の年月日 昭和 24 年 4 月 1 日 発表 戦没(行方不明)の原因 機内(機上)で戦没 戦没(行方不明)の時間 不明 戦没(行方不明)の場所 不明			現 住 所 [Redacted]			現況不明者個人に關するもの 自昭和 24 年 4 月 1 日 至昭和 24 年 4 月 1 日		

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 況	組 乗 有 個 便 乗 便		船 艦 に 上 る 事 故		現 況 不 明 者 と 同 一 行 動		現 況 不 明 者 と 同 一 行 動			
		一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 四、出港地及び年月日 五、寄港地及び年月日 六、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数		一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 四、出港地及び年月日 五、寄港地及び年月日 六、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数		八、歸還の状況 九、終戦後の状況 十、終戦時の状況		八、歸還の状況 九、終戦後の状況 十、終戦時の状況		八、歸還の状況 九、終戦後の状況 十、終戦時の状況	
(公)	佐世保人事業務課にて判定	20 1 3		昭 平 月 日		(イ) 所在 地 (ロ) 隊員 数 (ハ) 傷病 者数 (ニ) 集結 又は 收容地		(イ) 所在 地 (ロ) 隊員 数 (ハ) 傷病 者数 (ニ) 集結 又は 收容地		(イ) 所在 地 (ロ) 隊員 数 (ハ) 傷病 者数 (ニ) 集結 又は 收容地	
(明)											
(不)											
(生)	世話課(科)にて判定										
員											
三、同部隊名		四、承知事項を 家族に通知す る内容		五、死亡年月日 原因		六、死亡年月日 原因		七、死亡年月日 原因		八、死亡年月日 原因	
有無				昭和20年9月31日		昭和20年9月31日		昭和20年9月31日		昭和20年9月31日	
村大字											

1-10

死歿者調書

本籍地 全右	現住所 全右	所屬部隊 第二十七號野戰潛艇	現役 現役	天位 衛生兵	勤勞概要 (Blank)	疾病(受傷)年月日 (Blank)	病名(受傷部位) (Blank)	歿時(受傷)年月日 (Blank)	歿時(受傷)狀況 (Blank)
出生年月日 昭和八年五月五日		歿年月日 昭和八年七月五日		籍貫 全右		勤勞概要 (Blank)		疾病(受傷)年月日 (Blank)	
出生年月日 昭和八年五月五日		歿年月日 昭和八年七月五日		籍貫 全右		勤勞概要 (Blank)		疾病(受傷)年月日 (Blank)	

35582

右申告又

昭和二十八年八月六日

市	支	申
氏名	所属部隊	本籍地
	第二十七號	
	階級	
	階級	
	入籍番号	

備考

- (一) 本欄書は部隊長又は隊長が署名し、於て、其地方復員局の人事部長宛に通報せられたる記載のものに付、記載せらるる。
- (二) 兵隊在籍者の持病等官定書に付記載せらるる。
- (三) 同者病人は勿論、此府縣官定書に付記載せらるる。
- (四) 和得しるる範囲に出生年月、詳細に記載せらるる。
- (五) 他人に南米を承継し、其事項は各官定書欄に相手方を記載せらるる。
- (六) 送付先

是より下等町 其地方復員局人事部長宛

257-10

生 存 者 確 認 報 告

報告者ノ當時ノ所轄(部隊名)

九三六空

報告者ノ官職氏名(冠報符入籍番號)

中尉

報告者ノ本籍地及ビ現住所

[Redacted]

所轄官職	氏名	電報符又ハ入籍番號	出身地	生存又ハ戦歿区分	年月日	場	認所	狀	況
中尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死	昭和七年	上海	内地	不明	昭和七年七月上海内地
中尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死	昭和七年	上海	内地	不明	昭和七年七月上海内地
中尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死	昭和七年	上海	内地	不明	昭和七年七月上海内地
中尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死	昭和七年	上海	内地	不明	昭和七年七月上海内地
中尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死	昭和七年	上海	内地	不明	昭和七年七月上海内地

兵隊の報告

軍人現況不明者調査

氏名 出生年月日 入籍地 現住地

永長

[Redacted Name] [Redacted Birth Date] [Redacted Residence] [Redacted Current Residence]

本村に於ける状況

陸軍部からの報告

送出日附
即座符號
受領年月日
捺印者印

陸軍部報告
同方送付
本年一月一日
本年一月一日

内容

昭和九年一月一日
又（陸軍部）
十八年一月一日

昭和九年一月一日
陸軍部報告

完

何の通知
二十一年七月

知事
知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

知事

68328



舊海軍關係未歸還者消息把握調整(二十三年) 月 日 第二頁 陸世語録第二復原科

申告者	事項明判るよに査調	一 一段 調査	現況	知得	二 二段 調査による	新規判明情況
		現況	現況	現況	現況	現況
所屬部隊	階級	氏名	方面	職	備考	備考
東カロリン空	中尉	[Redacted]	中部太平洋方面 カロリン諸島	兵艦番號	現況不明考 名簿索引	二巻ノハロ頁
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	東カロリン	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

ニ、五、七、月頃 春島ニテ空襲ニ依リ爆弾ノタテ
 兵舎ニテ攻撃部ニ彈片別ヲ受ケ一週間余入院後
 戦死

(但レ入院前ハ職業ハ鉄道員人)

290

昭和二十八年六月二十四日

異地芳儀負我務処理部

儀負我務処理部長宛

昭和二十八年五月二十五日附(奥人勇二郎ノ三九八三)を以て御
照會戴き申上り共故海軍々属 [redacted] た端 [redacted] 此に
情況を就き申上りては不取敢戦友 [redacted] の手紙(寫
を甲送付申上りて置き申上りてが同人は已に故人と云う
て是より言ひ下し定に同一職務に就て居りて居る軍
属 [redacted]
先索申上りて當時の事情を輕き別紙の如く記

236-12

明を以て漢に比して
考考考のたのむ記明と併せ在記考類と同封し先置
す月下から空敷の配慮の程の願申上りて書類は
何れも故人の形見の爲を所り月下から甲用海の上は甲考
却か願申上りて

記

一 [redacted] の記明書

一 海

一 海軍工員手帳

一 海

一 友人の文通はがき

二 海

一 [redacted] 記書

一 海

208 235

246-13

昭和三年の七月、中頃
昭南島航空廠より朝八時出發
ベナンへ郵品送る為 松台の自
動車でベナンに行 帰る道すがら
かぞで飛行機のインテニ台つ
んで居ながら 其のインテニが
ツラタタ
自動車が かわり インテニの インテニ 在る

ちうと有りむねをうらあはらうがやれ

自動車に  その身満院はるれ

て作さまうしなかまへ人むから三

十分く命にすしなよくほらむら

てあやう下さい

本名
蘇名

[Redacted]

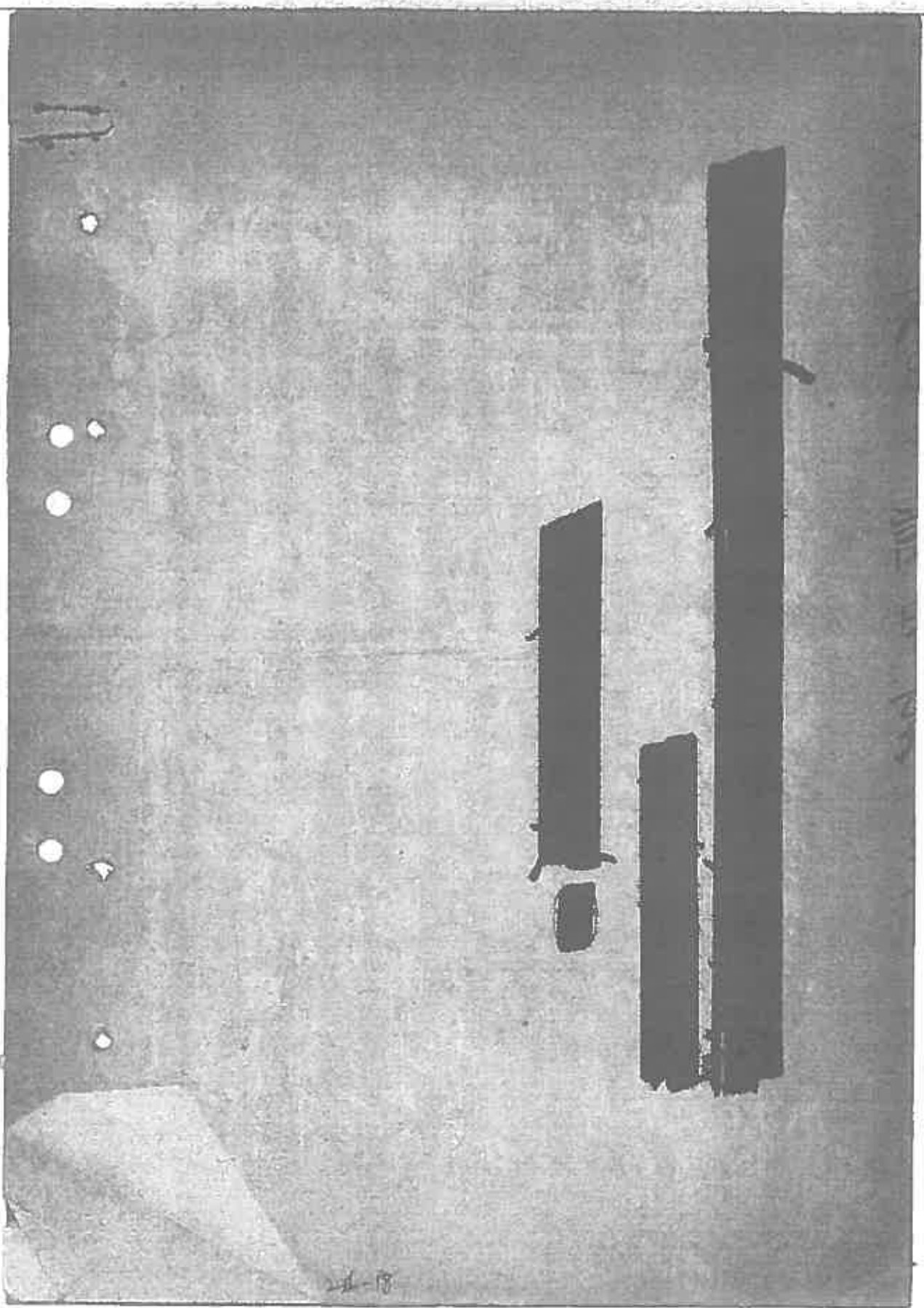
[Redacted]

[Redacted]

236-12

昭和推力年七月 中頃 南西方面 昨南吹
 海軍航空隊 左朝十時 公費(バナシ)江
 飛行機部 函を返る 指立の自動車
 下(バナシ)に行 任務を終り 基地に帰る途中
 きまの南の飛行機 部の正午に 二台ついで
 居たが 其のエンジンが かなり外れ 右のめり自動車
 の(エンジン)し 重の部 函の下敷と成り 物を
 打ち(あぼら)が 左の白物車に ■■■■ 居るをの毛
 病院に連れて 行きまされたが 二三十分の後 命に

昭和推力年 七月 中頃 南西方面 昨南吹



24-18

44888

死 没 者 簡 書

本 籍 地	現 任 所	所 屬 部 隊	入 團 年 月	官 等 級	內 地 離 國 出 發 年 月 日	外 地 到 着 年 月 日	補 給 概 要	發 病 症 候 (年 月 日)	病 名 (受 傷 部 位)	發 病 一 受 傷 (又)
[Redacted]	[Redacted]	第 三 大 号 海 防 艦 隊	昭和 十 年 十 月 十 日	海 軍 少 尉 氏 名 [Redacted]	昭和 十 年 十 月 十 八 日	[Redacted]	三 大 海 防 艦 隊 中 員 長 奉 儀 一 番	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

死亡年月日時刻及場所

昭和三年八月二日午後三時頃 秋田縣沖

右申付

昭和三年七月九日

氏名	本籍地	現住所	所屬部隊	入隊番號
			第千六百防衛隊	
			百等級	
			陸軍兵曹	

備考

- (一) 本陣營ハ係隊長又ハ業務取扱者等ニ於テ吳地方後員局人奉部長宛通報シ非スト認ムルモノノミニ付記候ス
- (二) 吳鎮在籍ノ特務士官、准士官、下士官、兵ニ付記候ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記候ス
- (四) 歸得シタル範圍内於テ出來得ル限リ詳細ニ記候ス
- (五) 因他カガリ期キテ承知シタル事項ハ各當該局ニ相手方ヲ記候ス

吳市

吳地方後員局人奉部長宛

269-10

五二

田吉書目

一 死後身日書所

一 死後身日書所

一 死後身日書所

一 死後身日書所

一 死後身日書所

二 算水安

但世保海兵衛。但し死後當時は信長十四時院
有三大隊と派遣也。

昭和二十一年一月三日迄（一日の音送）の日記は
佐世保名大野町下大野の村々

同日午後、伊藤守實

（一）伊藤守實の作業は上し、前記の大野川
畔、伊藤守實の他、伊藤守實（成吉）と伊藤守實

手帳用、伊藤守實の行方不明、各日、伊藤守實の行方

不明、伊藤守實の行方不明、各日、伊藤守實の行方

不明、伊藤守實の行方不明、各日、伊藤守實の行方

不明、伊藤守實の行方不明、各日、伊藤守實の行方

昭和二十一年一月三日

125-14

軍醫官末リ

軍醫官末リ

新藥

心臓

心臓

結核

下

以上

以上

一本

一

回

一回

(文)

本

海

新

海

昭和

日

125-16

庚 申

敬 拜 先 已 有 嗣 者

西 曆 一 九 一 一 年 一 月 一 日
陽 曆 一 九 一 一 年 一 月 一 日

已
本 姓 姓 名

姓

姓

何 德 祥 氏 (曾 姓)

其 子 之 子 何 德 祥 氏 均 與 祖 父 同 姓 凡 姓 何

自 祖 父 何 德 祥 氏 (曾 姓)
衣 子 孫 均 姓 何

何 德 祥

西 曆 一 九 一 一 年 一 月 一 日

習 身 世 姓 何 氏 名

先

年 月 日 時 辰 分

西 曆 一 九 一 一 年 八 月 二 日 時 辰 分 庚 申 巳

亡

地 址

北 平 市 東 門 外 西 便 道 口 十 五 號

內 姓 何 氏 名

西 曆 一 九 一 一 年 一 月 二 日 時 辰 分

何 德 祥 氏 (曾 姓)

其 子 之 子 何 德 祥 氏 均 與 祖 父 同 姓 凡 姓 何

勸 務 執 照

照 得 子 弟 中 有 曾 姓 北 平 市 東 門 外 西 便 道 口 十 五 號
自 祖 父 何 德 祥 氏 (曾 姓) 之 子 孫 均 姓 何
同 姓 何 德 祥 氏 (曾 姓) 均 與 祖 父 同 姓 凡 姓 何

生 時

年 月 日 時 辰 分

西 曆 一 九 一 一 年 八 月 二 日 時 辰 分

死 時

年 月 日 時 辰 分

北 平 市 東 門 外 西 便 道 口 十 五 號

何 德 祥 氏 (曾 姓)

其 子 之 子 何 德 祥 氏 均 與 祖 父 同 姓 凡 姓 何

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何

何 德 祥 氏 (曾 姓)

何

何 德 祥 氏 (曾 姓)

35

高文集

<p>長西文... 年...日</p>	<p>勤務... 稅...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>...</p>		<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>...</p>		<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>

死...
高...
訓...
書...

...

...

...

...

...

44

死亡年月日
 死亡場所
 朝鮮各島
 死亡
 死亡時の状況

右の通り承知し、お子の方から申書致し、
 昭和二十一年 月 日

氏名	不詳	不詳	不詳
現住所	元山特別根據地隊附方一五二番哨戒特務隊 兼組員		
所属部隊			

備考

一本調査は死没者の上南係一切の處理を了し、
 慎重に且、詳細に記入し、
 一人から南より承知し、
 昭和二十一年 月 日

昭和二十一年 月 日 發

44-10

死現者胡青

本籍地	[Redacted]
現任所	同
所屬部隊	糧領領海軍二作學校 兼大六名家
入隊年月	昭和十一年二月
定等級	海軍一等兵
內地進場出陣年月日	[Redacted]
戰地到着年月日	[Redacted]
勤務機要	昭和十一年三月。與隊員同日歸國。昭和十一年四月十日。糧領領海軍二作學校入隊。昭和十一年八月。普列海軍二作學校。昭和十一年八月。糧領領海軍二作學校。
疾病發病(年月日)	[Redacted]
病名(產傷初夜)	[Redacted]
受難原因(天災海嘯)	昭和十一年六月。海軍二作學校。昭和十一年八月。普列海軍二作學校。
死年月時刻及場所	昭和十一年八月七日。上午十時。普列海軍二作學校。
右申(告)	[Redacted]
昭和十一年	二月二十一日
本籍地	[Redacted]
現任所	同

戰死番
5/10

68 廣白

死歿者調書

籍地

現住所

浙屬部隊

入團年月日

年級

內地港灣

外地到善

勤務

傷病

死歿

死歿

[Redacted]

右同

山口縣 岩國海軍航空隊

昭和十九年五月

飛長

內地勤務

飛行場分隊 1-1 2-1 3-1 4-1 5-1 6-1 7-1 8-1 9-1 10-1 11-1 12-1 13-1 14-1 15-1 16-1 17-1 18-1 19-1 20-1 21-1 22-1 23-1 24-1 25-1 26-1 27-1 28-1 29-1 30-1 31-1 32-1 33-1 34-1 35-1 36-1 37-1 38-1 39-1 40-1 41-1 42-1 43-1 44-1 45-1 46-1 47-1 48-1 49-1 50-1 51-1 52-1 53-1 54-1 55-1 56-1 57-1 58-1 59-1 60-1 61-1 62-1 63-1 64-1 65-1 66-1 67-1 68-1 69-1 70-1 71-1 72-1 73-1 74-1 75-1 76-1 77-1 78-1 79-1 80-1 81-1 82-1 83-1 84-1 85-1 86-1 87-1 88-1 89-1 90-1 91-1 92-1 93-1 94-1 95-1 96-1 97-1 98-1 99-1 100-1

勤務

昭和十九年八月七月

重傷

死歿

昭和二十年八月十九日午後三時

本院加療中 死亡

右の通り 承知 して 御 申 告 致 しま せ ぬ

昭和二十年八月二十一日

署長 氏名

告 者 氏名

所在地

山口縣 岩國 海軍 航隊

備考

本報告は死者の身の上関係一切を把握するものから慎重に
に因り詳細に記入して下さる

本場人から聞き取れた事柄は必ずしも正確なものである

皆未だ終りに記入して下さる

本場人から聞き取れた事柄は必ずしも正確なものである

皆未だ終りに記入して下さる

死 没 者 調 査 書

籍地		職	工員
現在所		氏名	[REDACTED]
所属部隊	第三工務班	階級	
生年月日		出生地	佐世保
死年月日	昭和三年三月十七日	死に到る日	三月十七日
動向概要	第三工務班職員、南方防務作業に従事。		
疾病等	昭和三年三月七日		
死因	脚氣病		
備考	防務班解散後、物資整理中。		

死時状況	死時状況不明			戦死
備考	右の通り承知して、おまわり用苦致し奉り。昭和三年三月十六日			
申告	籍地	階級	海軍少尉	氏名
申告	現在所	[REDACTED]		
の所属部隊	第三工務班			

備考

一 本調書は死没者との関係一切を處理するものなる慎重に且、詳細に記入し下す。
 二 他人から聞いて承知した事項は其の旨を余白記入し下す。

確認書

一本籍地

一戦死者所属等級氏名

商船光丸和丸警戒隊長海軍上等兵曹

一戦死場所及日期

北緯三四度二分東經一三〇度二分(山口縣南島燈台西方五哩)

昭和二十年八月七日

一戦死状況

昭和二十年八月七日二時一五分山口縣佐々木警報
發令下一五時〇〇分第七村泰丸ト共ニ小串出港二隻
船團ニテ朝鮮釜山向航中一六時三〇分大型
機二機(PB4Y)ヲ發見一六時四〇分ト交戦
中爆彈、彈片ニタリ左腕切斷、機銃ヲ胸部
貫通銃創ヲ受ケトモナク戦禍指揮中一七時〇〇分
戦死トシケラン
此体八圓船十七時三〇分沈没、為沈下シ其、以方不明
アリ、其、後掃海隊ニ打合セシモ浮上セザル事明ラカリ。

接 受
214 22
人地山

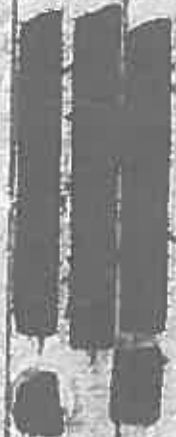
右確認入

昭和二十一年四月十日

元寇部九等水兵次席 海軍水兵長

同 隊員 海軍水兵長

同 隊員 海軍上等水兵



山形地方復員人事部御中



上移地方復員人事部

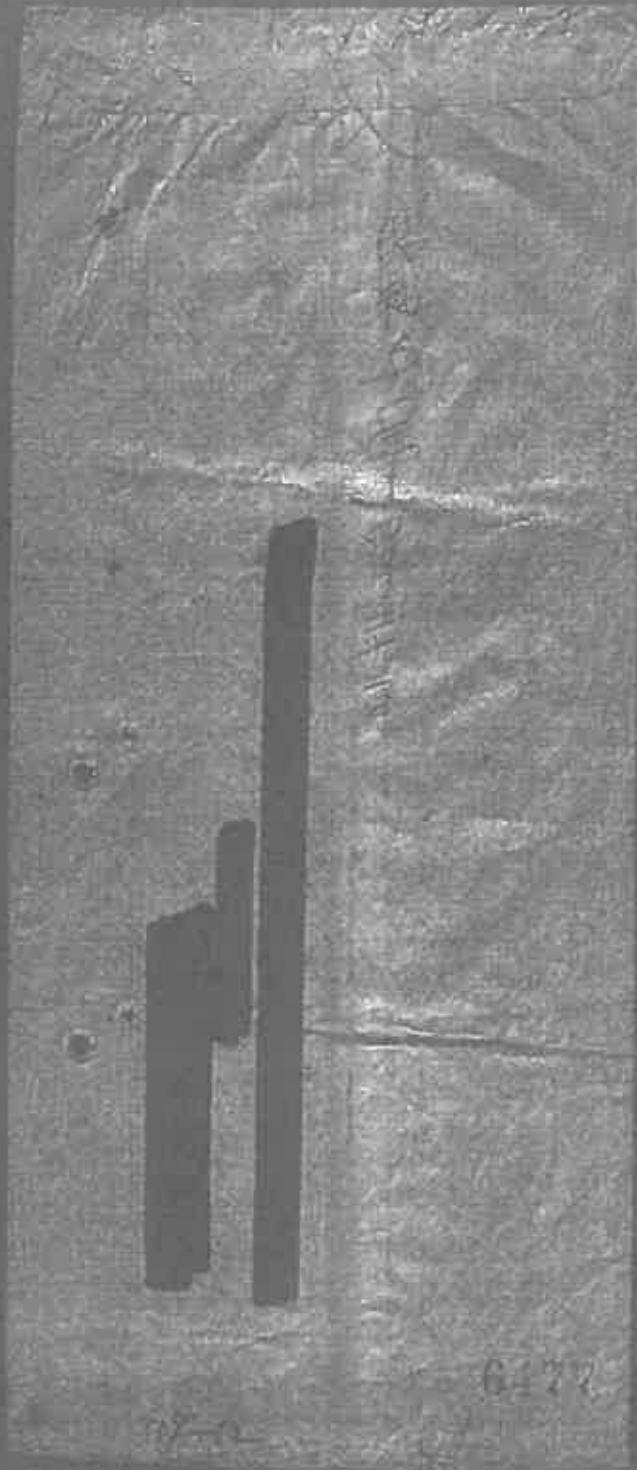
香登町

雄略書在

運送

6476

119-11



別紙

方九南隆丸元致言武存長海軍等兵費



一記

昭和三年八月七日午二時十分
概約不明約。概ト一時周ニ渡リ交戦シ「船」青島等由地ニ向テ
艦隊中ノ艦隊等ノ為ニ事波ガルルモノト云ハレハ概後詳テ
片ノ中ニ貫通シ個々不明ニシテ重傷トナリ以後海中ニ一時周ニ
此ノ片ノ求助ニ助ケテ鎮海ノ軍病院ニ入院片ノ切斷
三日後十日死ス

右ノ様 調査出来ニク哀悼ノ意ヲ表シマス

287

6478

六月三日

世話部 馬中十

元
尔友部
木友部
友部
教員
海軍上層兵曹



187-10

福岡縣

死歿者調書

木籍地

現住所 右 用

所屬部隊 刺野原尚南道 東米部 砲連 向 等 存 倉山 降 年 庚 不 依 十二 分 後 四 班

入團月日 昭三、一 役種 二 國 紅 禪 整備 六

等級 上 整 年 級 令 令 入 前 番 令

内地港灣出 昭三、二月 (予想) 令 地 港 灣 出 昭三、二月 (予想) 令 地 港 灣 出

外地港灣出 昭三、二月 (予想) 令 地 港 灣 出 昭三、二月 (予想) 令 地 港 灣 出

勤務の概要 新設航空隊の整備及航空機整備隊各機装隊の整備構築等に従事

昭和三十二年八月八日午前十時

昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日

昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日

昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日 昭和三十二年八月八日

昭和二十三年八月八日午前十時

死亡時の状況

取巻機等機材用のナニ、軍用舟艇の部、本隊に搭乗中に西の一度を以て墜落し、
その時、機材等の損傷等を生じたに似て、
その時、機材等の損傷等を生じたに似て、
その時、機材等の損傷等を生じたに似て、

右之通り承知しておまゝから申付致し
ます。此の件に於ては、
その時、機材等の損傷等を生じたに似て、
その時、機材等の損傷等を生じたに似て、

昭和二十三年七月三十日

等級上等兵

氏名

本籍地

[Redacted]

現住所

右同

所属部隊

釜山海軍航空隊十一号隊 四班

備考

不調書は死後者の身上関係一切を處理するものとして、
その旨を、
その旨を、
その旨を、

詳細に記入して下さる

7/20

20年 8月11日

他人から聞かして承知した事、
他人から聞かして承知した事、
他人から聞かして承知した事、

その旨を末尾餘白に記入して下さい

戦死 戦没 戦傷 戦病 戦死

海軍 海軍整備部 長

入籍番号

[Redacted]

[Redacted]

一 中 告 告

一 現 住 所

一 戦 死 者

一 戦 死 地

一 戦 死 日 時 刻

一 戦 死 名

一 戦 死 場 所

一 所 屬 部 隊

一 遺 骨 品 の 定 規

戦死 戦時 の 戦死

二十一年八月八日敵機襲撃、遺体八幡神社境内に落下し爆弾炸裂
下へ散り、三名と共しく死す

専

昭和二十一年八月八日一二〇〇頃

戦死

宇佐航空基地 八幡神社境内

戦斗才三二七航空隊(才二五二航空隊)

遺骨は [Redacted] 上野曹長持参、遺族に交還済

(一〇七〇)

20670

現況不明者請心調查任類票(三四七三) 疑復復疑 疑復復疑

申告者	現況不明	不明	者	知	本	用
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
現住所	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

昭和三年八月九日

1631

答

標

員。何。御。存。知。合。

河原長右衛門尉... 勤勞... といまし共か

本人報勤の場合... 勤いまし共か

本人の上へ最後... 九... 無海軍少佐

本人の消息を... 第三三掃海艇也

復員... 復員所... 復員所

復員所... 復員所

註

一本... 復員所... 復員所... 復員所

1632

死 亡 現 察 証 明 書

陸 邦 海

裏面記載上の注意を見てください。(捺及び裏面の各欄は記載に及びません)

資 料 提 供 者 死 亡 知 覚 方 法		着 者		亡 者		死 者		開 喪 時 の 住 所 (在 留 地)	本 籍 地	区 分	葬 病 時 期	葬 病 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
用 紙 綴 装 後 一 枚 収 入 した 紙 入 法 一 枚 収 入 した 情 報 是 等 詳 細 二 枚 収 入 又 予 規 定 一 枚 収 入		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
死 亡 者 と の 係 関		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
現 住 所		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												
所 属 部 隊 番 号		死 亡 知 覚 方 法		着 者 姓 名		亡 者 姓 名		郡 縣 又 は 市 町 村	通 有	葬 儀 場	葬 儀 日 時	葬 儀 場 所	死 亡 区 分	死 亡 日 時	臨 終 死 亡 場 所	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	遺 留 品 の 処 理
		資 料 提 供 者		着 者		亡 者												

6485

7-26

官 公 署 任 担 査 調 見意のていつに理処亡死		宛 公署	由証	券 第 号	證 昭和十一年十月十八日
資料区分 旧		印 検		先知温	
新		手入 官公署名 吳池方復原部		要 積	
官 見	査 所	調 所 名氏調所	手 場 段 所 於 吳 市	年 月 日 昭和十一年十月十八日	手 場 通調、招致、統制

一、本證明書は、死因不明の死亡の場合の遺体となる証書であり、かつ、特種な死因を認めないものである。従つて、証明が不正確なところは、支つてその理由を記載して下され。

二、死因不明の死体の場合は、自から認めた（見付）、知水をとつた、屍體に立合つた、屍體を又は何處かに発見した、其から聞いた（この場合は、其が死因不明としたかどうかを記載すること）、死因不明であることを何等でも見た等の死因不明を記載して下され。

三、死因不明の死因はなるべく詳細に記載して下され。又、発見場所として「何方の外に本人の死亡を察知したか」といふ人があれば、その人の氏名、所属（職、職、本、本、本）、「死亡者の特徴（年齢、性別、身長、体重、髪色、髪型、服装、靴履、指輪、腕時計、刺青、傷痕、胎記、痣、皮膚病、その他）」、「死亡者が遺棄されたか」、「死亡者が遺棄されたか」、「死亡者が遺棄されたか」を記載して下され。

四、発見場所の記入欄中、本人の出入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は、補綴した場合、その旨を併記して記入し、発見場所の記入したものとは区分すること。

昭和十一年十月十八日

熊本縣 100

死歿者調書

本籍地

現任所

所屬部隊

入團年月

等級

內地赴港日期

外赴日期

勤勞概要

遺族姓名及住址

姓名及住址

遺族姓名及住址

[Redacted]

右二回

元山特別根據地隊附予一九二二年以前特務員

一等水兵

一等水兵

一等水兵

一等水兵

現任

現任

現任

現任

現任

現任

現任

現任

兵種

兵種

兵種

兵種

兵種

兵種

兵種

兵種

昭和二十年八月十日 〇五三〇



188

22

11-25

海

軍

昭和二年九月十日
死亡時刻
死七時の状況

昭和二年九月十日
五三〇

死七場所

朝鮮海峽

死七原因

戦死

右の通り承知しての事から申告改くす。

昭和二年

九月十八日

等級

二等兵曹

氏名

申告者

本籍地

現住地

所属部隊

石川 周三

元山特別根據地隊附員一六二号哨兵特務隊

備考

一本調書は此致者。身立関係一切を差控するものとする。以下に
に且詳細に記入して下さい

二他人から聞いた事柄は其の旨を宛先者に記入して下さい

終

軍人現況不明者調書

現況不明者名簿

所 (詳合年月日)		等級	氏名	生年月日	入籍番號	本籍	所地
佐野新田一九二 三〇五・五一		上等	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
留守擔當者			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
家族の承知してゐる情況			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
差出日附 部隊符號 (大村病官舎) (叔父の家) 受領年月日 (二、七、六) 檢閲者印 ()			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
本人からの最後の通 信			[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
内地出發年月日、場 所、乗船名 (又は航 空機) 行先		昭和三十二年八月七日 (一九二) 号 船 成 艘 船 世 係 出 発 行 先 九 山 ら 九 山 十 日 着 手 是					
(一) 部隊長から何が 通知があつたか		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
其		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
(一) 本人とは 何時で何 れに一緒 したか		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
(二) 其の時の 本人の状 況		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
(三) 同部隊名		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
同右現住所		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
情報提供者		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
提供年月日		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
簡遺者からの情報		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
年 月 日		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
部 隊 等 級		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
氏 名		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					
入籍番號		昭和三十二年八月十五日 (一九二) 号 山 中 沖 朝 鮮 釜 山 沖					

174

<p>佐人資料</p>	<p>世話(君) 資料及所見</p>	<p>其の他究明上参考となるべき事項</p>	<p>家族渡受領の情况及取扱経理部</p>	<p>昭和二十一年八月一日又は其の後に未便員届を出したか出してなければその理由</p>	<p>(一) 歸還者から何か通知があつたか (二) 其の他のどこから何か通知があつたか (右通知した人の住所氏名)</p>
<p>6308 23年4月11日</p>	<p>右各記事より推察すれば戦死せるものと思ふ</p>	<p>哨戒隊勤務中大村病に付途中(三)の頃一休職を帰す 佐世保出発前叔父の家へ来てすまじやを遊んで行ったとの事</p>	<p>毎月十三日宛送金 佐世保経理部</p>	<p>出</p>	<p>昭和二十一年八月一日又は其の後に未便員届を出したか出してなければその理由</p>
<p>息消の人の本の後の</p>					
<p>ばらな 等の推定</p>	<p>本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名 其の他究明上参考となるべき事項</p>	<p>作職 収容年月日 収容年</p>	<p>行方不明者 生年月日 事故の場</p>	<p>ばらな 等の推定</p>	<p>ばらな 等の推定</p>
<p>昭和二十一年八月一日又は其の後に未便員届を出したか出してなければその理由</p>					

6308-10-11

20
8
10

23-10

福岡縣

本籍地	[Redacted]	死没者調書
現住所	右 同	
所属部隊	門司市海岸通	天付枝光丸
入團月日	昭和十九年十月日	役 種 爆雷班
等級	上等水兵	[Redacted]
内地港灣出帆日	昭和二十年七月三日	令 港 上 在
外地港灣出帆日	昭和二十年七月三日	令 港 上 在
勤務の概要	入船以来爆雷班に勤務勉勵を以て自らの任務を最後まで遂行した 新得港 旗基の港	
その他	ナシ	
姓名又は受傷部位	ナシ	
その他	ナシ	

90

昭和五年八月十日午前八時半

死亡時の状況 爆弾の犠牲となる戦死を遂げた

右之通り 朝陽輝新隊から司令部に申し出を致しませり

昭和五年一月十五日

入籍番号 [redacted] 警級水兵長

本籍地 [redacted]

現住所 右 同

所属部隊 内司市海岸通 [redacted] 気付枝光丸

備考

一本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるから、
重に其の詳細に記入して下さる。

二他人から聞いて承知した事項項頁の他は参考しとすべし
その旨未尾餘白に記入して下さる。

23年々月日発表

宮山

本籍地	現住所	所屬部隊	入團年月日	等級	内地 外地 海外	勤劬力の概要	病又は受傷年月日	病名又は後傷部位	縣
死歿者調書									
第十警備隊									
上等曹									
兵 役 名 姓									
[Redacted Name]									
兵科 (普通)									
併印西貢									
<p>昭和二十一年一月十二日 特務艦主田川丸曹長とて勤奮甲一昭和二十一年一月米 組隊の空襲に於て同艦沈没、西貢に上陸、第十一砲隊に假 して隊員として勤務、三月二十一日、ピニカン 附近に於て同隊と共に空襲を受け、戦死、戦死後、 又勤多の記録、西貢に於て同隊と共に勤務、戦死、戦死後、</p>									

75-14

死亡の場所	西貢海軍病院
死亡の時刻	昭和二十一年八月十一日 (日付記憶せず)
死亡時の状況	B.24 空襲時射撃中 右の通り承知してゐる中から申告致しませぬ
申告番号	昭和二十一年八月二十一日
本籍地	等級中尉 女
有現住所	月石
所属部隊	第十警備隊

一 本調書は死歿者の身上関係一切を処理するものであり、ますか、
 慎重に且つ詳細に記入して下さい
 二 他人から聞き取れた事項、其の他参考となるべき資料はその
 首尾詳細に併記して下さい
 不明の点多く甚だ申訳無く存りませぬ、当時結核時より退社して
 記憶喪失と云ふ事、其の詳は別紙にありませぬ、直叙して記述しませぬ

75-15

海軍部 陸軍部 衛生部 陸軍省 陸軍省 陸軍省

富山縣海軍部 富山縣海軍部 富山縣海軍部

生 存 者 確 認 報 告 七 月 三 十 一 日 送 付

報告者ノ當時ノ所 (部 隊 名) 九〇一空 (羅津瓜)

報告者ノ官職氏名 (冠 報 符 入 籍 番 號)

上 空 曹

報告者ノ本籍地及ヒ現住所

[Redacted]

所 轄 官 職 氏 名	電 報 符 又 ハ 入 籍 番 號	出 身 地	生 存 又 ハ 戰 歿 區 分	年 月 日	場 所	現 状	備 考
九〇一空 曹	[Redacted]	[Redacted]	生 存	三 十 五	ウラガノ	羅津瓜よりウラガノ林谷外に移動、状況不明とす	八八頁
九〇一空 曹	[Redacted]	[Redacted]	戦 死	三 十 三	清津所	上陸軍との連絡は、本所(本隊)より連絡途絶	八八頁
九〇一空 曹	[Redacted]	[Redacted]	戦 死	三 十 九	不明	千村と同本所。時空不明とす。途中等方不明とす。血の四枚を本所	八九頁

証人 第 [Redacted] 氏 [Redacted]

127

戦病死(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12)

一 死

付内務省の件

一 死 昭和五年 自十廿日頃

一 死 昭和五年 自十廿日頃

一 海死 海死 千ナス

一 死 昭和五年

6707

八月五日ヨリ 昭和五年 遺 骨

宮崎縣 在 昭和五年

昭和五年

[Redacted]

是付物と同御なり

終業間止はしむる事日去来す

之にせしむれば此の用知不ぬの

と用ひて世の事とて用は用陣の物合付

法通知りて度才が外の陸軍の今二人

又通知申す事とて左記の如く日病

死せしむる由法用事とて互加事未復

中場今付は尋ね有るに此の如く海軍

下す

[Redacted]

是の如く一應の如くなりと心得候事

是の如く付候事とて此の如く候事

年月日

1970

年
月
日

入
付
書

ホリ
中
下
館
院
延
者
六
部
院
死
せ
る
由
を
和
し
て
女
を
養
育
す
る
事
を
命
じ
ら
れ
し
事
に
由
り
て
是
の
如
き
事
は
未
だ
見
え
な
か
り
し
事
に
由
り
て
是
の
如
き
事
は
未
だ
見
え
な
か
り
し

入
付
書



蘇連地区死亡者に対する申告書

一 死亡者

階級 元山空 二水

氏名 [Redacted]

本籍地 [Redacted]

二 死亡年月日 昭和八年八月 日

三 死亡場所 朝鮮元山駐在隊病室

四 病名及発症状況

[Redacted] 昭和八年七月下旬より腹痛及び嘔吐
入軍加療中より病状悪化（八月四日）
遂に病没せり

五 當時の状況概要

右に相違ありませぬ

昭和八年八月一日

申告者

元新高部隊 元山海軍航空隊

現住所 [Redacted]

官軍氏名 一水 [Redacted]

[Redacted]



56-20

名?

死歿者調書

所屬部隊

第三四一海軍航空隊

役種

刀口集

兵

種兵團務

官等級

上等機師

名

[Redacted]

番

[Redacted]

戰地到着年月日

昭和十九年四月一日

勤苦 概要

四月一日赴着揚陸小隊、機師等也
被命六月十日曾格年、防備、敵機三ツキ
着陸地構築、自構築科、二役年、

受傷察病年月日

終戰前

受傷部位(病名)

顔面左胸部、機銃彈創

受傷察病年月日

陣地構築中、B27機銃彈、ヨリ即死

死時状況

死亡年月日

終戰前

時刻

口ノ島

20-5-19
[Redacted]

44692

右 申告

昭和二十一年七月十日

本籍地	[Redacted]
没郷先	[Redacted]
所屬部隊	第三四一海軍航空隊
氏名	[Redacted]
	官等級 機長
	入籍番號 [Redacted]

備考

(一) 知得三了九範圍ニ於テ志業得テ履キ詳細ニ記載ス
 (二) 他人ノ用キテ承知ニテ九事項ハ各當對稱ニ相手方ニ記
 載ス異々ニト

193-10

元海軍軍人未復員者調査票

連絡番号	(所) (籍) (令) (年) (月) (日) (付)	等級	氏名	生年月日	(本) (現) (住) (籍) (所) (地)
	在(住) (軍) (支) (隊) (支) (隊)	軍属	[Redacted]	[Redacted]	縣 [Redacted] 市 [Redacted] 町 [Redacted] 字 [Redacted]
	留守担当者	続柄	氏名	現	住
	兄		[Redacted]	縣 [Redacted] 市 [Redacted] 町 [Redacted] 字 [Redacted]	

家族の承知されてゐる情況

本人からの最後の三紙に就いて記入下さい	差出日附 (年 月 日) 部隊番号 () 受領年月日 (年 月 日) 校閲者印 () 内容	一 部隊長から何か通知がありましたか 二 捕虜者から何か通知がありましたか 三 其の他のところから何か通知がありましたか 以上ありましたらそれを書いて通知した人の住所氏名を書いて下さい
内地出発年月日、場所、乗船名、行先がわかりましたら書いて下さい	其の他本人に就いて参考になることを書いて下さい	

歸還者からの情報 (帰還者の方は本欄に未処置者個人に対すること、自分の属してゐた部隊の情報を入記して下さい)

未処置者個人に対する情報 情報提供者 部隊 等級 氏名 入籍番号 [Redacted] 同右現住所	帰還者の属してゐた部隊の情報 この欄には所属部隊の行動、戦況 (帰還者本人の状況) を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を被らさない様にして下さい) 戦況 [Redacted] 生存者 [Redacted] 昭和二年近海軍軍属 [Redacted] 部隊と行動
本人から何処で何時何処で何れかの状況はどうか、また連絡の状況はどうか、これを本欄に記入して下さい 戦死者でしたらその状況を本欄に記入して下さい (死亡か病死なら病名を記入して下さい) 行方不明者ならばその状況を記入して下さい 他に本人の消息をよめる方々の住所氏名を記入して下さい	死亡原因 戦死 死亡年月日 昭和二年 不明 死亡の場所 奇里 状況 奇里戦線に於て戦死 原因 年月日 場所
備考	